



すずしろ

～開拓・発展・完成～

7月 第4号
令和6年7月19日

開進第四中学校だより
校長 田邊克宣

『 亀の卵から考える 』

7月10日、生徒たちが息せき切って教えに来てくれました。

「 亀が卵を産んでいる！ 」

本校のマスコット (?) である亀が、いったいいつからいるのか定かではありません。7年前の校舎改築の折には、すでにいたようです。どなたかご存じの方がいらっしゃいましたら、校長までお知らせください。ともあれ、うすいペールオレンジの楕円形をした卵を、初めて見ました。生き物の生命を間近に感じられる環境を大切にしたいと考えます。

さて、東洋のガラパゴスと称される小笠原諸島に分布する日本固有種の蝶であるオガサワラシジミは、環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定されており、2020年を最後に確認されていません。2016年からは多摩動物公園と新宿御苑で「生息域外保全」が開始されましたが、こちらは2020年に繁殖途絶しました。今般、神戸大学他の研究チームがまとめた検証報告によれば、遺伝的多様性の減少が進行した結果、当初80%以上あった卵の孵化率が、10%以下にまで減少してしまっていたとのことです。生物学的に見ても、多様性は、種の保存に欠かせない条件の一つであることの証明です。

昨今のネット社会で生じるエコーチェンバーやフィルターバブルといった現象を見聞きするにつけ、“多様性”と対極にあるそうした風潮に大きな不安を禁じ得ません。自分と似通った思いや考えに同調することは間違いではありません。しかし、“多様”を“自分勝手”とはき違え、徒党を組む、他者の排斥に偏る言動を取るに至っては、もはや多様性の否定をしているとしか言えないでしょう。

いろいろな人がいる。互いにそれを認め合い、歩み寄り、最適解を模索しつつ共に生きていく。そんな社会を創るために、開四中生には、その素直な、あふれるエネルギーを生かしながら、社会で認められる自己実現を果たしてほしいと切に願います。

長い夏休みに入ります。勉強に部活動にその他に、生徒諸君もそれぞれ忙しいことと思いますが、ちょっと立ち止まって、スマホと一緒に身も心もオフにして、流れる雲でも眺めながらボーッと一日を過ごしてみるのもよいでしょう。そして皆と、9月2日に再び会うことを楽しみにしています。

保護者、近隣の皆様には、しばらくの間子供たちを地域にお返しいたします。健康と安全を第一に見守っていただきたく、よろしく願い申し上げます。

【 高等学校受験に関して 】

高等学校の入学試験等において、都立・私立共に、合理的配慮による対応がとられる場合があります。内容に関しては個別対応となるため、事前に申請をし、各高等学校による検討及び判断がなされます。医療機関の診断書等が必要となることもあり、また、申請内容がすべて認められるとは限りません。

つきましては、希望がございましたら、三者面談等の機会を通じて、2学期が始まる前に担任にご相談ください。